



2022年10月31日

各 位

会 社 名 ANAホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 芝田 浩二
(コード番号 9202 東証プライム)
問合せ先 グループ総務部長 植野 素明
(TEL . 03-6735-1001)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2022年4月28日に公表した2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の通期連結業績予想を修正することとしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 2023年3月期通期連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)の修正について

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰 属 する 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 1,660,000	百万円 50,000	百万円 30,000	百万円 21,000	円 銭 44.65
今回修正予想 (B)	1,700,000	65,000	55,000	40,000	85.05
増 減 額 (B - A)	40,000	15,000	25,000	19,000	—
増 減 率 (%)	2.4	30.0	83.3	90.5	—
(参考) 前期連結実績 (2022年3月期)	1,020,324	△173,127	△184,935	△143,628	△305.37

2. 修正の理由

航空事業において、国際線では日本の水際対策の緩和により、旅客需要の回復が進んだことに加え、国際線貨物も堅調に推移していること等から、売上高は1兆7,000億円(前回発表時から400億円の増加)となる見通しです。費用面では、為替・燃油の市況影響に伴う費用の増加が見込まれますが、引き続きコストマネジメントの徹底に努め、営業利益は650億円(同150億円の増加)となる見通しです。また、航空機の資産売却益や為替差益等が想定を上回る見込みであることから、経常利益は550億円(同250億円の増加)、親会社株主に帰属する当期純利益は400億円(同190億円の増加)となる見通しです。

なお、算出にあたり、米ドル円為替レートは145円、航空燃油費の指標であるドバイ原油の市場価格を1バレルあたり100米ドル、シンガポール・ケロシンを1バレルあたり130米ドルとしています。また、上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

以上